

# 令和6年度第1回千葉市男女共同参画審議会 議事録

千葉市 市民局 生活文化スポーツ部 男女共同参画課

## 1 日時

令和6年6月27日(木) 10時00分～12時00分

## 2 会場

千葉市役所高層棟 2階 XL会議室 201

## 3 出席者

(委員)

南野委員、ホバート委員、山口委員、小幡委員、高梨委員、高橋委員、  
小保方委員、栗田委員、清水委員、白戸委員、仙波委員、長岡委員

〈欠席：川島委員、藤盛委員、沼倉委員〉

(事務局)

堺生活文化スポーツ部長、山下男女共同参画課長、長野男女共同参画課長補佐、男女共同参画課主査、同主任主事、高木こども家庭支援課長、笠井こども家庭支援課長補佐、こども家庭支援課主査、同主任保健師、齊藤男女共同参画センター主査

## 4 議題

- (1) 令和5年度事業報告(男女共同参画課・こども家庭支援課)について
- (2) 令和6年度事業計画(男女共同参画課・こども家庭支援課)について
- (3) 「多様性を活かしたまちづくりに向けた調査」の結果報告について

## 5 議事の概要

- (1) 令和5年度事業報告(男女共同参画課・こども家庭支援課)について  
令和5年度事業報告(男女共同参画課・こども家庭支援課)について、説明及び意見聴取を行った。
- (2) 令和6年度事業計画(男女共同参画課・こども家庭支援課)について  
令和6年度事業計画(男女共同参画課・こども家庭支援課)について、説明及び意見聴取を行った。
- (3) 多様性を活かしたまちづくりに向けた調査の結果報告について  
多様性を活かしたまちづくりに向けた調査について、結果報告及び意見聴取を行った。

## 6 会議経過（発言）（○…委員、△…事務局）

（１）開会

（２）生活文化スポーツ部長挨拶

（３）委員紹介及び出席委員の報告

（４）令和５年度事業報告（男女共同参画課・こども家庭支援課）について

○南野会長 まず、議題１「令和５年度事業報告」について、事務局からのご説明をお願いしたい。

△山下男女共同参画課長 <事務局説明>

△高木こども家庭支援課長 <事務局説明>

○南野会長 事務局からの説明について、質問や意見はあるか。

○小保方委員 公益社団法人 日本動物病院協会のアニマルセラピー人と動物のふれあい活動で千葉市の小学校に犬と訪問するボランティアとして参加している。これは、こどもに動物とのふれあい方について小さいころから教育するような活動である。ふれあうことでほのぼのした気持ちになる体験だけではなく、思い通りに気持ちが伝わりにくい相手（動物）でも、その特性を理解することで互いに心地よくふれあえるということを知る機会にもなっていると感じる。こども家庭支援課事業報告、DV防止対策関連事業、1暴力根絶と人権尊重のための啓発・教育の推進、（１）デートDV予防啓発リーフレットの作成・配布について、小学生は今後デートDVの被害者にも加害者にもなりうるため、この事業でも尊重という言葉の頭で理解する前の段階から啓発教育するルートがあっても良いのではないか。ボランティアは、NPOを通じての活動であり予算等は未確認だが、その様に思う。

△山下男女共同参画課長 小学生への啓発という点においては、人権擁護委員が実施している「人権教室」の中で、いじめという観点を通して、人権の尊重の啓発を実施している。NPOを通じて実施できるかについては、承知をしていない。

△高木こども家庭支援課長 おっしゃる通り、若い時から人権感覚を身につける教育は非常に重要なものだと思っている。DVのリーフレットについても、若い方

が親しみやすいように教育委員会と連携し、記載を工夫して作成している。また、配布する年代についても教育委員会に相談をし、男女の性差を意識し始める世代である中学校の2年生に配布している。

○仙波委員 男女共同参画課事業報告、男女共同参画推進事業、6 その他の取組み、(7) 女性リーダー育成事業について、参加した稲毛高校生徒の学年を伺いたい。また、参加者が少ないと思うので、どのように募集を行ったのか伺いたい。

△山下男女共同参画課長 参加した生徒の学年は1年生と2年生である。参加人数の10人については、リーダーを目指す子どもたちが積極的に参加することを促すために、あえて人数を絞っている。募集については、試行的な事業という面もあり稲毛高校の先生に選抜をお願いした。今年は、定員を30名として実施する予定である。

○南野会長 普段大学生と接していると、男女共同参画の点から「そういう行為を許してはダメなのではないか」と感じることを日常から経験している、と話している。事業の対象を大学生にも拡大してもらえるといいのではないか。

(5) 令和6年度事業計画（男女共同参画課・こども家庭支援課）について

○南野会長 議題3「令和6年度事業計画」について、事務局からのご説明をお願いしたい。

△山下男女共同参画課長 <事務局説明>

△高木こども家庭支援課長 <事務局説明>

○南野会長 事務局からの説明について、質問や意見はあるか。

○高橋委員 男女共同参画課事業計画、男女共同参画推進事業、6 その他の取組み、(3) プロスポーツチームと連携・協力したLGBT周知・啓発活動について、令和5年度のジェフから令和6年度で千葉ロッテマリーンズとの連携に変更したのはなぜか。また、アルティエリ千葉などバスケットボールチームと連携をすればいいと思うが、事業を拡大する予定はあるか。同(5)女性リーダー育成事業について、参加可能なのは、市内在住の高校生だけなのか、在学でも可能なのか。また、私立・公立どちらも参加可能なのか。一つの高校から多数応募があり、枠

が埋まることはないのか。

△山下男女共同参画課長 プロスポーツチームと連携した周知啓発については、例年千葉ロッテと連携を行っていたが、去年は日程が合わずジェフと連携した。今年は日程が合い、千葉ロッテと連携して実施する予定である。予算の制約もあり、事業の拡大は今のところ検討していない。女性リーダー育成事業について、申込は在住、在学、両方可能である。参加者10人の内訳は、昨年、稲毛高校に協力していただいたということもあり、各回5人を稲毛高校の卒とし、残りの5人を在住、在学の高校生としている。

○ホバート委員 孤立しがちなひとり親が集えるサロンを開催する予定はあるか。また、ヤングケアラーには体験格差があると指摘されているが、千葉市では対策を行っているか。

△高木こども家庭支援課長 1人親家庭が孤立しないためのサロンの開催は検討していない。対象をひとり親に限定していない、子ども食堂等の集いの場への支援を実施している。また、千葉市では体験格差の解消のため、バウチャー制度を実施している。この制度は、児童扶養手当全部支給世帯と生活保護世帯の小学5・6年生を対象とし、民間の学習塾や習い事に通う費用を年間12万円まで助成するクーポンを発行するものである。

○長岡委員 報告や計画の項目を見ると暗い気分になる。記載のある事業を実施する必要があるという根拠は分析、公表しているのか。

△山下男女共同参画課長 第5次千葉市男女共同参画ハーモニープラン、第3次千葉市DV防止・被害者支援基本計画の策定の際に調査を実施して分析を行い、その結果を根拠として記載している。

○清水委員 こども家庭支援課事業計画、DV防止対策関連事業、1暴力根絶と人権尊重のための啓発・教育の推進、(1)デートDV啓発リーフレットの作成・配布について、配布する時期はいつか。人権擁護委員として活動しており、中学2年生を対象として秋ごろ実施する人権教室のなかで活用したいと考えている。

△高木こども家庭支援課長 夏休み明けを予定している。活用していただけるとありがたい。

○白戸委員 男女共同参画課事業計画、男女共同参画推進事業、6 その他の取組み、  
(7) 多様な性への理解促進について、場を設けるだけではネットワークが広がらないと思うが、拠点を設けるか、今後の事業の展開などを伺いたい。

△山下男女共同参画課長 詳細は検討中だが、千葉市のいずれかの会議室を使い、集える場を試行的に実施したい。

○小幡委員 こども家庭支援課事業計画、DV 防止対策関連事業、1 暴力根絶と人権尊重のための啓発・教育の推進 (1) デートDV 啓発リーフレットの作成・配布について、配布する時期を夏休み明けにするということに賛成。この時期は、不登校や自殺などが一番多い時期であり有効だと思う。

○高梨委員 男女共同参画課事業計画、男女共同参画推進事業、6 その他の取組み、(3) プロスポーツチームと連携・協力した LGBT 周知・啓発活動について、予算の都合はあると思うが、工夫できないか。アルティーマは学生が多く来ていると聞いているし、連携するチームを増やすことを検討してほしい。また、手渡しか、置くだけかでも啓発の効果は変わってくると思う。学生の下校時に駅で配布をするなども効果があると思うので工夫をしてほしい。同 (5) 女性リーダー育成事業について、どの市内企業を訪問するのか選定方法とともに説明してほしい。

△山下男女共同参画課長 (3) について、千葉ロッテとの連携では手渡しでの配布を実施しており、スタジアムには数万人の観客が入ることから、啓発効果は非常に高いと考えている。より効果を高めるために、方法を変更したり追加したりすることを検討していきたい。(5) については、株式会社 千葉銀行と国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構を訪問する。訪問先は、千葉市が中心となって設立した千葉イクボス同盟から 2 団体を選定した。

(6) 【議題3】 多様性を活かしたまちづくりに向けた調査について

○南野会長 議題3 「多様性を活かしたまちづくりに向けた調査について」について、事務局からのご説明をお願いしたい。

△山下男女共同参画課長 <事務局説明>

○南野会長 事務局からの説明について、質問や意見はあるか。

○ホバート委員 3. 男女共同参画社会に関する意識について、経年変化について教えてほしい。

△山下男女共同参画課長 経年変化については、12月の審議会で説明をさせていただく。

○南野会長 千葉市の職員や管理職の男女比を教えてほしい。

△山下男女共同参画課長 令和5年4月時点で、女性職員の割合は48.3%、女性管理職の割合は24.4%である。この数字には、消防局の職員は含まれておらず、消防局の女性職員の割合は4.6%、女性管理職の割合は2.2%である。

○山口委員 3. 男女共同参画社会に関する意識について、12月の審議会での報告時に、内閣府・千葉県の数値と比較をできるようにしてほしい。

○南野会長 性自認や性的指向が思ったより多様であったと感じた。特に若い世代では多様になっているという気づきがあった。

○小幡委員 市内のLGBT当事者の教員から人権に関する研修を受けた際に、あるアンケートによるとこのような研修に参加する教職員に児童生徒が相談する確率は30%で、受けてない教員に相談する確率は3%だと聞き研修が必要だと感じたところ、本調査内での性的少数者の割合が思っていたよりも高かったため、自分自身もこのような研修を受けなければならないと感じた。

○小保方委員 本調査の結果については市の施策の方に生かすということだが、調査内の個々の意見を、LGBTやシングルマザーを支援する団体へ直接報告したり情報提供をしたりする予定はあるか。

△山下男女共同参画課長 現在、団体へ個別に説明する予定はない。今後施策の検討段階で、当事者団体へ話を伺う際に調査結果などの説明を行おうと考えている。

○白戸委員 問12(ウ)学校教育の場に対して、平等になっているという回答がどの年代でも50%を超えているが、人が年齢を重ねて社会に出た先の地域社会や政治の場などは平等になっていると答える人が少ない。学校が平等だと思っている若い世代が社会に出ても男女差を意識することなく特性を生かして過ごすことができるように、千葉市は義務教育を所管している行政としてできることがたくさん

んあると思う。若い世代の意識を変えるような施策を行ってほしい。

△堺生活文化スポーツ部長 戦後の日本を支えてきた構造が残っている場面については、男女差が残っていると考えている。千葉市が男女平等を外部に発信していく際には市自身が変わらなければならないと考えており、少しずつ女性管理職の割合も上がったり、育休を取得したりする男性の数も増えている。また、子ども世代の意識を変えることが、大人社会を変える原動力になると考えており、引き続き教育現場と連携しながら取り組みを行っていききたい。

○小幡委員 堺生活文化スポーツ部長の意見に賛成である。昨年度は病休や育休を取る教員の代替として、2, 3 か月担任として入る職務をしていた。このように育休の人の代わりに仕事をする人がいるという制度がなければ、男性の育休取得は進まないのではないか。

○長岡委員 単に男女平等というだけでなく、制度を整えるべきだと考える。近所にある学校では、夜遅くや休日に業務をしている教員がいる。女性を管理職につかせるだけでなく、自身の子どもの面倒を見ることができるような制度を保証しなければならない。学校にパンフレットを配布する際にも、先生が生徒に説明する業務が発生するので、教員の負担を考えて実施してほしい。

△堺生活文化スポーツ部長 教員の忙しさについては承知している。市としても、スクールサポートスタッフやスクールカウンセラーの導入や、部活動の地域移行など市を挙げて進めている。女性を管理職に就かせればいいわけではない点はおっしゃる通りで、管理職として働き方の改革に努めていきたい。

○南野会長 公務員となった学生には、仕事量が原因で1,2年で転職をしている者がいる。また、保育現場で働く男性はロッカーがないなど働きづらいことがあると聞いている。若い方が社会や地域社会に貢献をしていくには、自治体・民間に関わらず、男性や女性が働きづらい状況の見直しが必要だと考える。

○南野会長 これで議事は終了としたい。進行を事務局にお返しする。

△長野男女共同参画課長補佐 次回の審議会は、12月上旬頃を予定しており、改めて事務局から連絡する。以上をもって、令和6年度第1回千葉市男女共同参画審議会を閉会する。